

教育

通学時の児童生徒携行品に配慮を

自分の判断で

問 コロナ禍以前から、ほとんどの学校では児童生徒に水筒持参を求められ、子どもの荷物を重くしています。さらに、平成30年に問題視されましたランドセル症候群、すなわち重いランドセルを背負う事で身体的異常や通学への憂鬱な気持ちが生まれてしまう状態をいい、学校から家までの距離が遠い子は特に苦痛を感じ

てしまうのではないのでしょうか。身体の健やかな発達に影響が生じかねない懸念や保護者からの配慮を求める声が寄せられ、平成30年9月に文部科学省が全国の教育委員会に、児童生徒の携行品に係る配慮についての通達をしています。教育立町としての須恵町の見解をお伺いします。

を学校に置くこととするのかを判断する中で、宿題や家庭学習で使用する予定のない教材については、置いて帰ることを認めています。そのため、教材を置くための棚やボックスを設置し、環境整備を行いました。現在は、児童生徒にも定着し、自身で持ち帰る教材を判断しています。

携行品に関する通知



文部科学省ホームページ

ことも検討していきたいと思えます。 ※置き勉とは 登下校時の荷物を軽くするために、教科書などを学校に置いておくこと。

文部科学省ホームページ



答弁中の平松町長



白水 春夫 議員

答 吉本学校教育課長 教科書の大型化やカラー刷りになったことにより、重量化したことはご指摘のとおりです。各学校では、児童生徒の発達段階や学習上の必要性、通学上の負担などを考慮し、何を持ち帰らせ、何

答 平松町長 子どもの健康を考えながら、置き勉という通達が出た段階で、教育委員会に話をして、どの町よりも早い対応を取ったと思います。重い教科書を持つて、遠い子は2キロから3キロ歩いて登下校する。このような状況を解決するのもDX社会ではないでしょうか。議会や教育委員会と協議し、現在学校で保管しているタブレットを家庭学習に活用する



子育て

新生児聴覚検査費用の助成を

検討していきたい

問 生まれてくる赤ちゃんの千人に1〜2人は、先天性難聴と言われています。早期発見し、生後6カ月頃までに支援を始めること、健常者と同じようにコミュニケーションがスムーズになります。令和元年度の受検率は、90・8%、公的負担を実施する市町村は、52・6%でした。厚生労働省・福岡県の基本方針では、受検率向上を目指し、受検者の経済的負担を軽減できるように市町村に対して検査費用

の公費負担を働きかけるよう明記されています。受検率向上・早期発見・早期療育につなげていくため、新生児聴覚検査の公的負担のお考えをお尋ねします。 答 舛本健康増進課長 須恵町子育て世代包括支援センターでは、生後1カ月頃から保健師などが全ての家庭を訪問する、乳児家庭全戸訪問事業を実施し、その際に新生児聴覚検査の有無と検査の結果を確認しています。未受検者は、令和2



今村 桂子 議員

年以降確認されておらず、把握率で言えば100%です。母子手帳交付時に県が作成したチラシを利用し、検査の必要性や相談窓口などの説明をしています。 今すぐに検査の公費負担は考えていませんが、今後の受検状況や近隣町の導入状況、国・県の動向を踏まえながら、検討したいと思えます。

教育

もっとタブレット活用を

活用を広げる

問

小中学校のタブレット使用は、学校の限られた時間です。視察したあわら市では、宿題などで自宅でも使用しており、コロナで学校を休んだ時もありモーター授業を受けることができ、ネット環境が無い家庭へは、ルーターの貸し出しを行い、タブレットで勉強ができる環境が整っていました。自宅やリモートなど活用推進のお考えをお尋ねします。

答 吉本学校教育課長

タブレットを持ち帰り、家庭で宿題や勉強に活用をすることを検討していますが、ネット環境が整備されていない家庭もあるため、実施していません。現在は、コロナウイルスが原因で登校できなくなった児童生徒や

学校を休みがちな不登校の児童生徒に対して、本人や保護者の希望があれば、授業の板書を中心にリモート配信しています。 答 平松町長 教育の最前線である小中学校において、タブレットを保管して寝かせても悪くなるだけでなく、頻りに使わせてWiFiルーターの通信料は保護者負担になります。子育て支援の中で無償で貸し付ければ良いと思っています。そういう環境を整えていくのが行政の役割であると考えており、ITやDX時代の社会に通用する子どもたちを育てる義務があると思っています。

答 平松町長 糟屋地区の担当課長会で協議させ、町長会へ現状報告をさせ

ます。その上で、実施する場合は1市7町一緒にしたほうが良いと思えます。